

この会社にきた理由がわかった

100日間

有限会社 レークヒル牧場

企業で活躍する若手社員の紹介

社員採用側と就職活動側、お互いのゴールは「入社」ではなく、「定着」から活躍であることは周知であると思う。

せっかく人材のマッチングが行われ入社に至っても、定着までにかかる日数が業界それぞれに存在する。

『定着までの心理と時間の谷』

その多くは100日に現れることが多いと言われている。

『谷を越えて来た』9人のインタビューから、それぞれの背中を押したポイントを探ってみたい。



定着成功、3つのポイント

- ・求職者とのマッチングの良さ
- ・柔軟な勤務条件（シフト勤務等）
- ・幅広い職域での勤務マッチング

将来の夢とか、なりたい職業とか、無いタイプでした。

高校までの生活は、まさに都会生活。自分の将来の仕事像などは、あまり想像できずにいました。

特別、両親・親戚なども近隣で育った環境もあって、漠然と「このまま、何かの〇〇さん」になるのかと思ったりしていました。

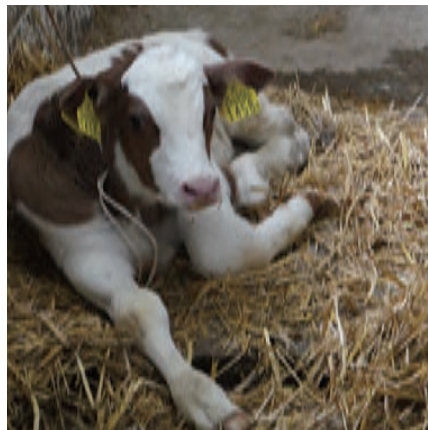
ただ、体を動かすことが少ない仕事は、長く続くのか不安があったのは覚えています。

北海道・農業・牧場

どれも全く無縁の都会生活なのですが、

高校生活も進み、周りの友達も進路のことを考える時期になって、私も進路について改めて考える時が来ました。きっかけは、なぜか学校に届いていた『北海道・酪農を学ぶ大学』の入学案内を見た時でした。

自分に関連することをしうて言えば「動物が好き」。そこまで何故気になったのかは不思議なのですが、すぐさまオープンキャンパスへ向かい、入学の手続きを進めて北海道での大学生生活を始めました。



4年間の大学生

生活が進み、北海道に残り酪農を続けていく可能性を。

大学生生活は順調だったと思います。都会と北海道の地域ギャップも楽しかったのだと思います。長期の休みなどには、農場に併設したショップでアルバイトをしたりもしましたね。

しかし就職活動は少し苦労があったという感じがします。

というのは、私の就職先の希望が生産農場というよりは観光牧場だろうという事になり、大学で就職活動しても求人情報が少なかったのが苦労の一番だったと思います。

実際就職してみても

大学の先生からの情報をもとに、求人を出していない観光牧場に突撃といった感じの就職活動でしたが、なんとか就職も決まり最初の配属は販売を行うショップということになりました。採用後割とすぐに他のスタッフのやりくりや、繁忙期の兼ね合いで、牧場・ショップ・イベントなどなど牧場全般の仕事に運命的に携わっています。この先もここで長く長く働いていきたいと思っています。

